

新任 あ い さ つ

平成21年5月1日より循環器内科学教授の職を拝命いたしました。伝統ある教室を主宰するということで、重責に身の引き締まる思いでございます。今後の教室の研究、診療、教育の方向性に関しての私の構想を述べさせていただきます。

私自身は2002年8月に京都大学循環器内科に着任して以来、日本人の循環器疾患の治療成績を大規模に検証する多施設研究を推進してまいりました。そのような研究の結果が蓄積される中で、動脈硬化性疾患の予後に関して日本と欧米では大きな差があることが明らかになってまいりました。われわれは日本人患者を治療するわけですから、日本人の治療成績に基づいて診療プラクティスが規定されるべきであるというのは当然のことです。

循環器臨床研究の拠点めざす

内科学循環器内科学 教授 木村 剛



基礎研究者が所属しており、研究活動に邁進しております。基礎研究者と臨床研究者が緊密にコミュニケーションをはかることで、基礎研究者にとっては研究を臨床のニーズに沿った方向に向け、新しい治療法の開発が促進されるはずです。さらに、新たな治療デバイスの開発のために、同時に、十分な収益を確保できる体質とすることが必要です。患者数の増加は大規模臨床研究推進において中心的役割を担う上でも必須であり、「京都大学病院循環器内科の臨床活性化」は引き続き掲げるべき重要な目標であります。

医療崩壊といわれる、前例がないほどの大きな問題に直面している日本の医療において、教育はますます重要な課題となつてきております。医療の現場を担うべきは若手医師です。医学部学生、初期研修医、後期研修医といった若者と接することの多い医学部教員は、医療の現場を担う覚悟を持った若手医師を育てなければなりません。

これまで循環器疾患の多施設研究を推進するための仕組みづくりを行ってきました。今後は、これまでに築き上げた多施設研究のネットワークを活用して、診療プラクティスに指針を与えるような大規模研究を推進していきたいと考えております。臨床研究をさらに円滑に施行するために、臨床研究の企画、遂行、統計解析、論文執筆などに通じたスタッフの充実した臨床研究推進組織を構築する所存です。京都大学循環器内科を日本の循環器臨床研究の拠点とすることは私の大きな目標です。

は、交流を教室内の基礎研究者のみならず工学分系、材料系、薬学系の研究者に拡げることが重要です。京都大学はこれらのフィールドにおいて多くの優れた研究者を擁してあります。その意味で新たな治療デバイスの開発にあたり京都大学循環器内科が中心的な役割を担いたいと考えております。

芝蘭会員の皆さまに医学研究科脳神経外科学教授着任のご挨拶を申し上げます。私は昭和57年に京都大学を卒業し、国立循環器病センター研修生として医師のキャリアをスタートしました。今日学外研修は珍しくありませんが、入局しない、脱藩、キャリアは当時稀で、寄る辺なき不安感から、まともな外科医にならないと洒落にならないと覚悟を決めて生涯一外科医を目指しました。

ところが、人生双六は思ひもかけない方向に転がるもので、紆余曲折を経て助教として京都大学を支える立場になり、それではなく、将来、国際的な情報発信ができる臨床研究者として成長するための基礎を身につけていたきたいと強く願っています。そのために必要な動機付け、臨床研究企画や統計解析の基礎についての指導など、多くの教育機会を提供いたします。

多様性の魅力生かし
百年の大計を

脳病態生理学脳神経外科学教授 宮本 享



の後、国立循環器病センター部長に転出し、学内外から京都大学を見つめてまいりました。本年5月1日付で6年ぶりに帰学したところ、多くの知己から「おかえりなさい」の言葉が返ってきました。脳外科では大学院生数も往年の6割程度に減少しています。かつて約200名であった医局員も30名ほど減りました。着任直後より関連病院の視察訪問を始めました。

ジームを創出できない限り、医療は崩壊します。しかし、私のような「脱藩浪士」を教授として採用するリベラルな京大であるからこそ新しいレジームを創ることができると考えています。

持っています。この魅力を活かした教育プログラムの充実に努め、恐れず怯まずの変革プランを提示したところ、変わるうとしていた大学の真剣さが若者の心に通じたのか、着任後2カ月で17名もの新規入局者が誕生しました。大学院志望者も着実に増えそうです。

平成21年4月1日付で、井出千束教授の後任として、医学研究科生体構造医学講座機能微細形態学教授を拝命しましたので、芝蘭会会員の皆さまにご挨拶申し上げます。

「構成力ある研究」と
その反映としての教育

生体構造医学機能微細形態学 教授 斎藤 通紀



私は、京都大学医学部の学生時代、当時、本庶研の講師であられた仲野徹先生（現・大阪大学大学院医学系研究科教授）のご指導のもと分子生物学の基礎を学び（シグナルシークエンスストラップ法による機能的分沁因子及び膜蛋白質の同定、その後、成宮研の講師であられた垣塚彰先生（現・京都大学大学院生命科学系研究科教授）のご指導のもと、分子生物学の技術、考え方をさらに徹底して学びました（レチノイン酸受容体の構造・機能解析）。平成7年に京都大学医学部を卒業後、直接進学しました大学院では、学生時代

に学んだ分子生物学の知識を背景に、故月田承一郎先生（分子細胞情報学講座）のご指導のもと、形態学的分子生物学を学びました（タイトジャンクションの構造・機能解析）。同時に生涯の研究テーマとして、ヒトを含む多細胞生物においてそのゲノム情報を次世代に継承する唯一の細胞系譜成などの仕事を発表できました。

地域医療とチーム医療の発展に向けて

人間健康科学系専攻教授 荒井 秀典

平成21年4月1日付で医学研究科人間健康科学系専攻教授を拝命いたしましたので、芝蘭会会員の皆さまにご挨拶申し上げます。医学研究科加齢医学講師、附属病院老年内科外来医長として会員の先生方には大変お世話になりました。ここに改めてお礼を申し上げます。

私は昭和59年京都大学医学部を卒業し、大学病院での内科研修の後、島田市立島田市民病院において内科全般に関する研修を2年間行いました。その間、虚血性心疾患、脳梗塞、閉塞性動脈硬化

症などの血管疾患を持つ多くの症例を経験し、動脈硬化性疾患の重要性を認識いたしました。その経験からこれら疾患の根底にある動脈硬化発症に関わるメカニズムを解明したいと思い、大学院に入学しました。大学院においては北徹教授のご指導のもと、動脈硬化の発症メカニズムの解明に向けてマクロファージ、内皮細胞における脂質代謝に関する研究を行ってまいりました。その後、カリフォルニア大学サンフランシスコ校へ留学する機会に恵まれ、Israel E. Chao 教授のご指導

のもと、動脈硬化の発症メカニズムの解明に向けてマクロファージ、内皮細胞における脂質代謝に関する研究を行ってまいりました。臨床面では高脂血症、糖尿病、高血圧、骨粗鬆症などいわゆる生活習慣病、代謝疾患の診療を中心に、高血圧、高脂血症の術前評価や高齢者総合的機能評価による全人的診療を行うこと、日本人

まいりました。今後は老年科医、代謝研究者として培った知識・ネットワークを生かして人間健康科学系専攻において地域医療・チーム医療に関する研究・教育にあたる所存です。近未来型人間健康科学



融合ユニットは人間健康科学系専攻博士課程の設置に伴い新設されたユニットで、看護・検査技師・理学療法士・作業療法士・医療の場で活躍できるすぐれた人材の育成に努める所存であります。会員の先生方には引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



統計遺伝学の裾野拡大を

医学研究科附属ゲノム医学センター 教授 山田 亮

平成21年8月1日付で医学研究科附属ゲノム医学センター統計遺伝学分野教授を拝命いたしましたこと、ご挨拶申し上げます。

統計遺伝学の名を冠した講座が日本国内にはほとんどありません。分野の説明を若干させていただきます。統計遺伝学は遺伝現象の数理確率的な側面に関する研究する学問であり、メンデルの遺伝学・フィッシャーの統計学の時代に、遺伝現象を数理解析的に取り扱うことをもって学

問の二分野として成立しました。その後、分子生物学の発展に伴い、多くの単一遺伝子疾患の原因遺伝子変異の同定に数理解析上の根拠を与えてきました。さらに、最近のゲノム科学がもたらす大量の遺伝子関連情報の活用が可能となったのを受

平成21年4月1日付で、笹田昌孝教授の後任として医学研究科人間健康科学系教授を拝命しましたので、ご挨拶申し上げます。医学研究科発達医学講座講師、附属病院小児科病棟医長及び外来医長として会員の先生方には大変お世話になりました。

謝申し上げます。人間健康科学科は、私が所属する検査技術科学専攻と、看護学専攻、理学療法専攻、作業療法専攻に分かれておりますが、新カリキュラムでは学生全員が、同じ授業を受講することがあります。小児白血病・悪性リンパ腫患者の治療は日本小児白血病リンパ腫研究グループ (JPLSG) に

来の小児血液セントラルレビューのできる多くの若い血液検査技師を育てていきたいと考えています。また、研究面においては、小児がん・白血病の遺伝子診断、予後因子の研究は、新薬の開発など、

血液学の楽しさ おもしろさを伝える

人間健康科学系専攻教授 足立 壮一



私は中畑龍俊教授のもとで、小児科血液腫瘍部門の臨床の責任者および造血幹細胞移植責任医師として、多くの優秀なスタッフと苦楽を共にし、多くの先生方にお世話になりましたことを深く感

謝申し上げます。私は、血液学、感染病御学、小児科学の授業を担当しますので、学生たちにも、血液学の楽しさ、おもしろさを伝えていきたいと思っております。人間健康科学系専攻の修士の授業ではチーム医療の授業がすでにありますが、移

による多施設共同臨床試験により、行われています。全国的骨髄標本が東海大学に集められ、医師、検査技師によるセントラルレビューが行われ、治療が行われています。私は、附属病院の検査技師の方々の協力を得て、将

【ご注意】

最近、芝蘭会員の皆様へ芝蘭会または京大医学部事務局職員の名前をかたて、個人情報(住所、電話番号等)を聞き出すとすると不審な問い合わせの電話があるというのを会員の皆様からご連絡をいただいております。芝蘭会とは全く関係がございませんので、くれぐれもご注意ください。芝蘭会では会員の皆様から住所変更等のご連絡がない限り、事務局からはお問い合わせいたしません。ご不審なことがありましたら、芝蘭会事務局までご連絡ください。

芝蘭会事務局

TEL 075-751-2713
FAX 075-752-4015

68回・2008(平成20)年版 芝蘭会会員名簿 刊行!

名簿作成にご協力いただき、ありがとうございました。

平成20年12月に芝蘭会会員名簿を刊行いたしました。名簿作成にあたり、会員の皆様から快く異動情報等をお寄せいただき感謝申し上げます。会員名簿をご希望の方は、芝蘭会事務局(075-751-2713)までお問い合わせください。

会員名簿: A4判、847頁
会員頒布代: 一部 5,250円(消費税を含む)
(但し、会費納入者に限る。その他は10,500円)
送料: 700円

このたび、『芝蘭会』E-mail 通信を創刊いたしました。この通信は医学研究科をはじめとする京都大学「医学領域」における講演会やシンポジウムなどの催し、芝蘭会の活動を会員の皆さまにお知らせするものです。

『芝蘭会』E-mail 通信を創刊

なお、創刊号は、芝蘭会京都支部がメール通信のために収集されていたアドレスを提供していただき、そのアドレスに8月25日に送信いたしました。この『芝蘭会』E-mail 通信は月1回程度発行の予定ですが、会員の皆さままで購読をご希望の方は、『芝蘭会E-mail 通信購読希望』と明記の上、氏名、卒業年度、会員番号、送信先メールアドレスを記入し、下記メールアドレスまで送信してください。

アドレス info@shirankai.or.jp

芝蘭会会員名簿

図1. 寄せられた寄付金の比率

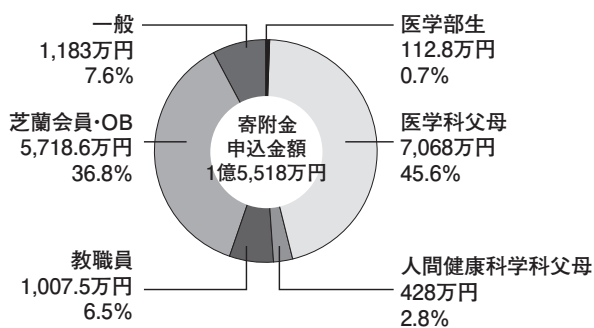
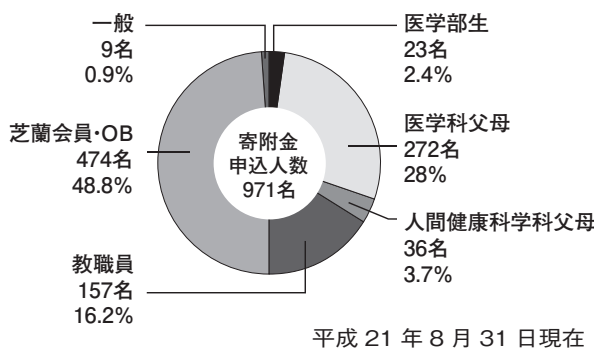


図2. 寄せられた寄付金申込人数の比率



平成21年8月31日現在

教育研究支援基金による学生会館 交流の場を創出

皆さま、来秋「医学部学生会館」がオープンします。この学生会館は、学生の学習や研修活動などの教育支援、大学院生の研究活動などの研究支援を主目的として、平成19年3月に設立した「医学部教育研究支援基金」を資金源として建設されることになっています。

医学部学生会館は、さまざまなコミュニティーが交流、情報交換、討論、そしてリラックスできる空間の創出をコンセプトとし、外観は、安定感のある大屋根と白色の外壁に



学生会館建設委員会委員長

吉村長久

あるリズムカルな窓の配列が建物に柔らかな印象を与え、周囲の緑に溶け込むものとしています。

中央部に屋根のない大きな吹き抜けを設けて、学生諸君の有意義な交流の場となること受け合い

を配置し、各クラブの部屋だけでなく集会室や学習室、また、1階には多目的室やジムといった共用スペースを配置しており、

金は、芝蘭会会員の皆さま、在校生のご父兄およびOB、教職員、その他関係諸氏からのご支援により、平成21年8月末現在、約1億5千万5百万円のご寄附のお申し出をいただいております。

1億5千万円超える 寄附金申込額

京都大学医学部教育研究支援基金(KMS・FUND)にこれまでにお申し出いただいた寄附金は、多くの方々の温かい支援を賜りまして、ここに1億5千万円を超えるまでとなりました。

その比率を別掲の図1、2に示しております。芝蘭会員の皆さまには申込者数48・8%、申込金額31・7%、申込金額

金額36・8%、京都大学医学部の父母(医学科と人間健康科学科)は申込者数31・7%、申込金額

ここに深く感謝いたしますとともに、今後ますますご支援を賜りますようお願い申し上げます。

いつも息子がお世話になりありがとうございます。わが家には、医学部の掲示板に息子の受験番号を見つけた合格発表の喜びが2年半経った今でも続いています。

山口県宇部市の高校生だった主人が、大好きな数学を勉強するため京都大学理学部を目指したのは昭和54年のことでした。修学院での下宿生活は毎日新しいことの発見で、今思えば危なっかしいこともあったようですが、大学の自由でかつアカデミックな雰囲気が大変心地良かったそうです。

京都大学を卒業した誇りと充実した学生生活を、息子が生まれてからよく話して聞かせていたからでしょうか、息

時の経つのは早いもので息子は医学部の最終学年となり、卒業試験、研修先のマッチングなどに多忙な日々を送っております。

私は専門が消化器内科であり、愛知県の長久手町でクリニックを開業しております。1989年から1992年の間、米国カリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)医学部に二コチン・喫煙の胃粘膜防御機構に及ぼす影響を解明する仕事に携わったことがあり、米国消化器病学会の公式雑誌に毎月目を通しております。

最近特に感じられるのは、日本からの論文数が激減していることです。これは雑誌の難易度が上がり、内容が基礎寄りになったのも一因ですが、2004年4月から導入された新しい臨床研修制度の影響も少なからずあった。

難になつてきているのではないかと思います。1980年から1990年は胃粘膜防御機構の研究が全世界的に隆盛をきわめており、国内外で多くの論文が出版されました。

医学部の叡智とパワーに期待

校友会会員 遠藤 一夫



ないピロリ菌に移行したからなのです。"Ohne sauren Magensaft kein peptisches Geschwür." (Schwarz K. 1910) という名言で知られているように、胃内に存在する酸は、攻撃因子として、消化性潰瘍の発生に重要な役割をもっています。また一方で酸

しかし、ヘリコバクター・ピロリ菌が登場して以来、この分野の研究は衰退の一途を辿っています。これは胃粘膜防御機構の総てが解明されて研究の必要がなくなっただけではなく、研究のトレンドが消化性潰瘍の責任因子の一つにすぎないが現状です。このように最近の学問の流れが、流行に左右され、振り回されている傾向があり残念に思われます。

国立大学法人化、新医師臨床研修制度の導入等、変化する医療現場で、限られた予算と人員のもとで、診療を行い、その上、研究をする医師への負担は多大なものであると思えますが、長きにわたり培われた叡智とパワーをもって、諸般の事情と流行に左右されることなく、京都大学医学部が今後さらなる発展を遂げること

来年5月2日(日)に開催

校友会の総会・講演会

京都大学医学部校友会の第3回総会・講演会が2010年5月2日(日)の13時より京都大学構内において計画されています。校友会の総会に続いて、京都大学医学研究科の先生方による講演とゲスト講演者の特別講演が予定されています。また、講演会後には懇親パーティーを企画しています。校友会の皆さまには学生さんと一緒にご参加いただきますようご案内いたします。

総会 13:00 ~ 13:30 (芝蘭会館本館)
講演会 14:00 ~ 17:00 (芝蘭会館本館)
懇親パーティー 17:15 ~ 18:30 (芝蘭会館本館 山内ホール他)

主催 京都大学医学部校友会、医学部教育研究支援基金
共催 京都大学医学部、医学部芝蘭会

高レベルの教育 受けられる喜び

校友会会員 石津 順子



話ではありませんでした。ただ、ハードルが大変高いことは十分承知していましたが、息子は真摯に受験と向き合い、家族も祈るような思いで合格発表を迎えた次第です。大学になれば高校までと違い、学校でどんなふう

会の講演会には以前からぜひ一度お目にかかりたいと思っておりました。好きな瀬戸内寂聴さんが来られたのです。人を惹きつける語り方です。聞き入り、息子が入学してくれただけで私の夢

わけていただく施設や教育内容の拡充が、同窓会「芝蘭会」の先輩方や父母の方々からの多大なご寄附によつて支えられているとのお話も伺い、大学の組織のレベルの高さを感じ、新入生として大変ありがたく思いました。

息子には、あの合格発表の感動をこの先の人生にも持ち続け、謙虚に勉学に励み、大学の名や、全国でそして世界で活躍しておられる先輩方の名を汚さぬよう社会に貢献する立派な医師になつてほしいと心から願っています。

現在3回生の息子が、受験の面接資料に書いていた「中高の6年間続けたサッカーを大学に入ってからも続け、体力のある医者になり、深夜勤務にも負けないようにしたい」と思っています。練習で真つ黒に日焼けした息子の生活をこれからも少し離れた位置から優しく見守っていきたいと思う母親です。

米ペンシルベニア大学

感染症科

このたび、2009年3月2日から29日の4週間、米国ペンシルベニア大学プレスビテリアン病院の感染症科にて臨床実習をさせていただきましたので、ご報告いたします。皆さまと少しでも経験を共有させていただけたら幸いです。

海外実習 レポート

6回生 奥田 佳奈子

①今回の プログラム

まず初めに、今回行かせていただいたプログラムを紹介いたします。京都大学は、ペンシルベニア大学 (Penn) を含むいくつかの大学と提携しており、希望者は、臨床実習の中で8週間ある選択期間にそれらで実習をさせていただきます。



前の1765年に設立され、全米でもトップ5に入るそうです。1学年は150人程度、男女比は約一対一です。また、



ペンシルベニア大学のキャンパス



実習を受けたプレスビテリアン病院

内部生の話によると、通常メディカスクールでは4年間のうちだいたい初め2年が授業、後2年が臨床実習らしいのですが、Pennでは授業を1

年半で終わってしまい、2年生の後半からもう実習が始まるそうです。そのため、4年生の間はあまりすることがなく、マツチングに必要な、研究室での研究などをする時間があるとのことでした。

④フィラデルフィア での生活

フィラデルフィアはアメリカ独立宣言の地で、高層ビルの立ち並び、全米第6の都市でありながら、古く美しい街並みが現在も残っています。市内にはそれにならんだ歴史的な建造物が多くあり、1776年の独立宣言時に鳴らされたという Liberty Bell や Independence Hall、全米屈指の規模であるフィラデルフィア美術館など、多くの名所があります。また、スポーツが集まっている都市ともいわれており、メジャーリーグの Phillies、NBA の 76ers、フットボールの Eagles、アイスホッケーの Flyers の本拠地にもなっています。

街の構造は分かりや

すく、ちょうど京都のように道が東西と南北に基盤の目のように走っており、バスや地下鉄、trolley (地下を走る路面電車) といった交通機関もよく発達している利便性です。治安に関しては、日没後の夜7、8時以降はあまり一人で出歩かないようにと Peer Host に言われました。

私が滞在中に宿

泊していた場所は、Penn 側が勧めていた International House という学生寮のようなところでした。

Penn のほかにも、近く S Drexel、Temple などの学生が多く滞在していました。周辺にはコンビニやスーパーなどのお店が多く、生活しやすいです。ちなみに、フィラデルフィア名物の食べ物

は cheesesteak

興味深い活発な議論 カンファ レンス

③実習内容

Penn の場合は、実習に必要な条件は TOEFL の点数のみで、期間は基本的に一つの診療科あたり4週間、最大二つの科(8週間)とされています。また、実習する科は、あらかじめ用意してくださっている中で、希望する順に順位をつけて申請します。私の場合は、

②ペンシルベニア 大学とは

アイビーリーグの大学の一つである Penn はペンシルベニア州フィラデルフィア市にあり、そのメディカスクールはアメリカで最初(独立宣言

ジデントも途中まで一緒にいたり、レジデント修了後であるフェローが一部の期間だけ加わったりと、頻繁に先生方が交代されています。

コンサルトの連絡があり、アテンディングから患者さんを割り当てられると、その病棟へ行き、カルテや看護記録からその患者さんの状態を把握した後、診察をします。

また、ID の場合は毎朝8時からHUPで、学生向けの講義もしくはアテンディングにプレゼンするというような流れでした。

アメリカの医学生の中で、朝それに参加してか

場は日本の研修医くらいに相当する印象で、患者さんの診察はもちろん、学生が患者さんに検査結果を自分で説明したり、転院してくる前の病院や

患者さんの家族に、直接電話をかけてデータを集めたりするのは驚きでした。実習でさせてもらえる手技に関しては、意外と日本と大差ないよう

でした。

また、ID の場合は毎朝8時からHUPで、学生向けの講義もしくはアテンディングにプレゼンするというような流れでした。

ら Presby に移動し、午前中は新しいコンサルトと前日までの患者さんのフォロー、午後からアテンディングと一緒に回診という毎日でした。

朝の講義では、HUP など Presby 以外の病院の ID で実習している数人の学生も一緒に回診という毎日でした。

朝の講義では、HUP など Presby 以外の病院の ID で実習している数人の学生も一緒に回診という毎日でした。

朝の講義では、HUP など Presby 以外の病院の ID で実習している数人の学生も一緒に回診という毎日でした。

習と比較的似ているような気がしました。

カンファレンスでは毎週、その週にコンサルトのあった症例のうちいくつかの症例検討が行われ、恐らく20名ほど

は、恐らく20名ほどアテンディングの先生方がいらっしやる中で活発に議論が行われていて、大変興味深かったです。

コンサルトでは、本当は私一人で完璧に患者さんを担当できるようになっておくべきだったのですが、アクセントによつては患者さんのおっしゃることが分からない時や、手書きのカルテ

と soft pretzel だそうなので、機会があればぜひ試してみてください。

ニューヨークやワシントンDCも近く、バスで2時間程度の距離です。私は週末に、同じフロアに住んでいたフランス人学生やドイツ人学生と一緒に、車でペンシルベニア州内の Amish Country という地域へ行きました。

Dutch Country と呼ばれているこの地域では、18世紀にドイツから移住してきた人々が、Pennsylvania Dutch と呼ばれる特有の言語を話し、宗教上の理由から電気を使わないといった独自の様式で生活をしているそうです。彼らの住宅の内部を案内してもらい、服装などに関する規律について知ることができて、大変興味深かったです。

また、ちょうど私が滞在していた時に、毎年 Penn のキャンパスで行われている Spoof というショーがありました。これは、Penn メディカ

ルスクールの生徒が企画するミュージカル仕立てのパフォーマンスで、Spoof (「茶化し」という名の通り、Penn の教授陣や授業を茶化してからかうといったものです。しかも、学長や教授自身もたくさん出演されるというのが楽しいところ

です。もちろん内輪のジョークは多いのですが、その時に話題になっている映画や歌を取り入れたり、私のお邪魔した Doctoring のクラスのパロディーがあったりと、ショーの間は笑っぱなしでした。

kanako_okuda@hotmail.com

⑤実習を終えた感想

実習に行く前には、アメリカの医学教育や研修、病院のシステムなどについて、さまざまな評価や情報を聞いていました。今回、実際に自分の目で現場を見る機会をいただけたことは、大変貴重でありがたく、嬉しかったです。研修や進路に関して、内部の学生や先生方に何でも直接聞けたことが非常に参考になりましたし、実習内容も感染症という、疫学的に見て各国ごとに状況が大きく異なるという点において、私がまさに興味を抱いていた内容でした。

そして、実習や日常生活を通して、アメリカという国家に対しての私の考えや思いを整理する二つの機会にもなりました。今回このような恵まれた機会を与えていただいたことに、心より感謝いたしております。大変お世話になりました医学教育推進センターの平出先生やスタッフの方々、医学部教務の方々、Penn の先生方と事務の方々、お世話になったすべての方にお礼申し上げます。また、このような環境を今まで作り上げてくださった芝蘭会員の皆さまにも感謝いたしております。本当にありがとうございました。今後実習に行かれる方など、もし何かお聞きになりたいことなどがありましたら、小さなことでもお気軽にご連絡ください。私でお役に立てることがあります。喜んでお手伝いさせていただきます。

(奥田 アドレス kanako_okuda@hotmail.com)

初期診療・救急医学の現状と未来
小池教授が特別講演



尼崎支部の記念撮影

続いて、兵庫県立塚口病院小児外科部長の片山哲夫先生による、「塚口

【尼崎】平成21年6月13日（土）、ホテルニューアルカイックにて芝蘭会尼崎支部総会が開催されました。

座長である尼崎永仁会病院理事長永井博之先生の進行のもと、まず昭和病院副院長の安本均先生による「心臓リハビリ

テーションについて」という題目の講演から始まりました。リハビリとは

いわゆる二次予防のことで運動療法などを指します。従来心筋梗塞などの

心臓病にかかれば、ベッドの上で安静にしているものと考えられていま

しが、現在は運動すること、症状が改善されると運動療法の有効性を述

べておられました。次に、兵庫県立尼崎病院循環器の西清人先生に

よる、「県立尼崎病院の循環器救急の現状」という題目の講演が行われ

ました。県立尼崎病院の救急で診察している心筋梗塞、CPA、AHFSな

どの症例数、また治療に際してステントグラフトなどを導入していること

などを話しておられました。

最新の糖尿病治療
稲垣教授が講演

後修で
卒後パ

【大阪】平成21年6月20日（土）、ホ

テルグランヴィア大阪にて平成21年度芝蘭会大阪支部総会が行われまし

た。開会の辞、物故会員追悼、会長挨拶、議長選

出、諸報告および議事等がありまし。そして学

術講演では、京都大学大学院医学研究科糖尿病・

栄養内科学教授の稲垣先生が「ここまで進んだ！

糖尿病治療」という演題のもと、最新の糖尿病治

療について講演されまし。中でも、先生が大学

院生のころから研究されていたインクレチンにつ

て、兵庫県立尼崎病院院長藤原義先生の座長のもと、京都大学大学院医学研究科初期診療・救急医学分野教授の小池薫先生による特別講演「京

都大学初期診療・救急医学教室の現状と未来」が行われました。小池先生はあえてスライドを使わず、とても親しみやすいざつくばらんな雰囲気です。話されていたことや、設備にも不備があったこと、最近では症例数が増えたり減ったりと、扱っている症例などについて話をされていま

した。また、休憩を挟んで、兵庫県立尼崎病院院長藤原義先生の座長のもと、京都大学大学院医学研究科初期診療・救急医学分野教授の小池薫先生による特別講演「京

都大学初期診療・救急医学教室の現状と未来」が行われました。小池先生はあえてスライドを使わず、とても親しみやすいざつくばらんな雰囲気です。話されていたことや、設備にも不備があったこと、最近では症例数が増えたり減ったりと、扱っている症例などについて話をされていま



ホテルグランヴィア大阪で開かれた大阪支部総会

学術講演会の後、「卒後研修を考える」という題目でパネルディスカッションが行われました。

北野病院の越山先生の司会のもと、毎年、北野病院の研修医を受け入れ

芝蘭会費納入は自動振替で

平成17年度より芝蘭会費の納入方法として、「銀行口座等からの自動引落し」を採用させていただいております。会費納入のお手間が大幅に省かれ、また、会費の二重払いの防止にも繋がります。

人 事 異 動

発令年月日	氏 名	異動内容
H21.6.1	西山 博之	昇任 器官外科学泌尿器科学講師より同准教授へ
H21.6.1	高橋 淳	採用 国立循環器病センター医長より脳病態生理学脳神経外科学講師へ
H21.6.1	中本 裕士	昇任 放射線医学画像診断学・核医学助教より同講師へ
H21.6.1	大久保康則	昇任 感覚運動系外科学口腔外科学助教より同講師へ
H21.6.30	板谷 正紀	退職 感覚運動系外科学眼科学講師より病院特定准教授へ
H21.7.1	江本 豊	採用 名古屋広小路クリニックより放射線医学画像診断学・核医学講師へ
H21.7.1	兼松 明弘	昇任 病院助教より器官外科学泌尿器科学講師へ
H21.7.1	吉村 耕治	昇任 病院助教より器官外科学泌尿器科学講師へ
H21.7.31	猪飼伊和夫	退職 外科学肝胆膵・移植外科学准教授より京都医療センター外科医長へ
H21.8.1	山田 亮	採用 東京大学准教授より附属ゲノム医学センター統計遺伝学教授へ
H21.8.1	土井隆一郎	昇任 外科学肝胆膵・移植外科学講師より同准教授へ
H21.8.1	大谷 篤史	昇任 感覚運動系外科学眼科学助教より同講師へ

会 員 訃 報 （敬称略） 謹んでご冥福をお祈りいたします。

清川 安彦（昭和2年卒）	平成15年4月18日	ご逝去	古瀬 久勝（昭和22年卒）	平成21年2月23日	ご逝去	福田 敏雄（昭和28年卒）	平成21年6月28日	ご逝去
戸田古一郎（昭和2年卒）	平成11年2月1日	ご逝去	黒田 藤平（昭和24年卒）	平成20年12月23日	ご逝去	久野 宗（昭和29年卒）	平成21年3月26日	ご逝去
齊藤 彰寿（昭和6年卒）	平成16年6月15日	ご逝去	清水 幸郎（昭和24年卒）	平成21年7月16日	ご逝去	西山 昭夫（昭和29年卒）	平成21年3月2日	ご逝去
八木田正夫（昭和15年卒）	平成21年7月13日	ご逝去	足立 啓（昭和24年卒）	平成21年1月4日	ご逝去	西木 泰嗣（昭和30年卒）	平成21年5月18日	ご逝去
小田原 健（昭和18年卒）	平成21年7月1日	ご逝去	代田 伍朗（昭和24年卒）	平成21年5月9日	ご逝去	杉山 信（昭和35年卒）		ご逝去
和田 脩湖（昭和19年卒）	平成21年6月16日	ご逝去	山本 武（昭和24年卒）	平成21年7月12日	ご逝去	野口 滋（昭和36年卒）	平成21年3月3日	ご逝去
半田 肇（昭和21年卒）	平成21年5月24日	ご逝去	矢野 一哉（昭和26年卒）	平成21年5月26日	ご逝去	平田 忠敏（昭和42年卒）	平成21年6月10日	ご逝去
菅 敏郎（昭和22年卒）	平成21年2月12日	ご逝去	西崎 笹夫（昭和27年卒）	平成21年1月22日	ご逝去	加藤五十六（昭和58年卒）	平成21年6月15日	ご逝去
佐藤新太郎（昭和22年卒）	平成21年5月28日	ご逝去	若井 義弘（昭和27年卒）	平成18年11月27日	ご逝去	堀井 正雄（教室会員 解剖3）	平成21年2月1日	ご逝去

原 稿 募 集

芝蘭会報は、会員の皆様の情報交換・意見発表の場です。支部活動、クラス会、会員の著書の紹介（自薦・他薦）及び医学・医療等に関するご意見を寄稿ください。なお、原稿の採用及び掲載時期については、編集委員会が決めさせていただきます。芝蘭会報 編集委員会

●事務局から●

平成17年4月からの「個人情報保護法」の全面施行により、個人情報の取扱いに厳しい制約が課せられました。つきましては会員の連絡先等のお問い合わせは、必要理由等を明記の上、郵便またはFAXにより事務局までご送付ください。電話でのお問い合わせにはお答え致しかねますのでご了承ください。（FAX 075-752-4015）

芝蘭会報編集委員会 委員長 中尾一和 委員 斎藤信雄、岩田征良、豊田伸哉、山田圭介、園部 誠、阿部恵 顧問 中尾一和 部 員 奥谷祐希、中島宏徳、濱谷康弘、橋本大輝、河北美緒（以上6回生） 尾市雄輝、亀井純（以上5回生） 植木一仁、武井玲生仁、水野裕基、福永有伸、畑玲央（以上4回生） 合田直樹、福田宗寛、勝島将夫（以上3回生） 橋本健太郎、中村有輝、山田直生、畑野翔太郎、前田峻宏（以上2回生） 芝蘭会事務局 事務局長 山田 均 総務課長 秋山和美 管理課長 松本 惇	平成15年4月18日	ご逝去	古瀬 久勝（昭和22年卒）	平成21年2月23日	ご逝去	福田 敏雄（昭和28年卒）	平成21年6月28日	ご逝去
戸田古一郎（昭和2年卒）	平成11年2月1日	ご逝去	黒田 藤平（昭和24年卒）	平成20年12月23日	ご逝去	久野 宗（昭和29年卒）	平成21年3月26日	ご逝去
齊藤 彰寿（昭和6年卒）	平成16年6月15日	ご逝去	清水 幸郎（昭和24年卒）	平成21年7月16日	ご逝去	西山 昭夫（昭和29年卒）	平成21年3月2日	ご逝去
八木田正夫（昭和15年卒）	平成21年7月13日	ご逝去	足立 啓（昭和24年卒）	平成21年1月4日	ご逝去	西木 泰嗣（昭和30年卒）	平成21年5月18日	ご逝去
小田原 健（昭和18年卒）	平成21年7月1日	ご逝去	代田 伍朗（昭和24年卒）	平成21年5月9日	ご逝去	杉山 信（昭和35年卒）		ご逝去
和田 脩湖（昭和19年卒）	平成21年6月16日	ご逝去	山本 武（昭和24年卒）	平成21年7月12日	ご逝去	野口 滋（昭和36年卒）	平成21年3月3日	ご逝去
半田 肇（昭和21年卒）	平成21年5月24日	ご逝去	矢野 一哉（昭和26年卒）	平成21年5月26日	ご逝去	平田 忠敏（昭和42年卒）	平成21年6月10日	ご逝去
菅 敏郎（昭和22年卒）	平成21年2月12日	ご逝去	西崎 笹夫（昭和27年卒）	平成21年1月22日	ご逝去	加藤五十六（昭和58年卒）	平成21年6月15日	ご逝去
佐藤新太郎（昭和22年卒）	平成21年5月28日	ご逝去	若井 義弘（昭和27年卒）	平成18年11月27日	ご逝去	堀井 正雄（教室会員 解剖3）	平成21年2月1日	ご逝去